

戸塚第一・大久保・余丁町・早稲田

# 区立幼稚園 4園が廃園に!?

区教育委員会が「区立幼稚園のあり方の見直し方針(案)」を発表

8月3日、新宿区教育委員会(以下、区教委)は「区立幼稚園のあり方の見直し方針(案)」を発表し、その中で4つの幼稚園を廃止対象園としました。  
新宿区は区立幼稚園と区立保育園を全園子ども園化する方針であり、今回の4園廃止はその一環です。

## なぜ廃園に?



区教委は、「園児数がピーク時の6分の1になり定員充足率が低くなっている子ども園が増えて選択肢が広がっている」ため、区立幼稚園を「適正な園数にする」としてあり方の見直しを検討しました。そして、区教委が定めた「存続の基準」(※)に基づき検討し、4園を廃止対象園としました。

### ※存続の基準

- ① 適正な園児数の確保(過去3年間の定員充足率が40%以上)
- ② 3歳児学級の設置(保育室数が3部屋以上あること)
- ③ 地域バランス(通園範囲は750m(幼児で徒歩15分)圏内)

なお、廃園は在園児の卒園後に行う、早稲田を除く3園は2014(H26)年度から募集を停止し、戸塚第一と余丁町は2015年3月廃園、大久保は2016年3月廃園、早稲田の廃止時期は早稲田南町地区の区営住宅再編後の跡活用(早稲田南町保育園は建替えて区立子ども園にする方向)の検討を踏まえて判断する、としています。

## これまで区に出された声 (パブリックコメント)

- 小学校併設の幼稚園では、園児が数年後に入学する小学校に関わることができ、小学校生活をスムーズに送ることができる。廃止するのは簡単であるが、活性化させる方策を考えていただきたい。
- ほとんどの保護者が3歳で入園させたいと思っているので、3歳児クラスのない園では定員充足率が低くなる。区立幼稚園の廃止を考えるのならば、すべての区立幼稚園に3歳児クラスを置いてから検討してほしい。

## 区立幼稚園は存続を!

新宿区の就学前の子どもが増え、早稲田幼稚園と余丁町幼稚園は定員充足率が67%と高くなっています。戸塚第一幼稚園がなくなると空白地域ができてしまいます。また、大久保幼稚園は外国人の保護者も多く、幼稚園が地域社会との交流の窓口になっており、多文化共生を掲げる新宿区にはなくてはならない幼稚園です。こうした地域のニーズに込んでいる幼稚園をなくすことは許されません。

日本共産党区議団は、区民からの強い要望である、3歳児保育の拡充や預かり保育等のサービス充実を求めてきました。これらの要望を実現すれば、区立幼稚園の定員充足率は高くなると考えます。区教委は4園を存続させ、区民の願いにこたえるべきです。

区教委は、9月上旬に保護者説明会、地域説明会を実施し、9月12日の区議会・文教委員会に報告、10月4日の教育委員会で一気決定しようとしています。

新宿区は、区民の声・意見を反映させてください

## 地域説明会に参加しましょう

- 9月4日(火)午後7時～  
戸塚地域センター・7F
- 9月5日(水)午後7時～  
若松地域センター・3F
- 9月6日(木)午後7時～  
榎町地域センター・4F
- 9月7日(金)午後7時～  
大久保地域センター・4F

\* どの会場でも同じ内容を説明します。



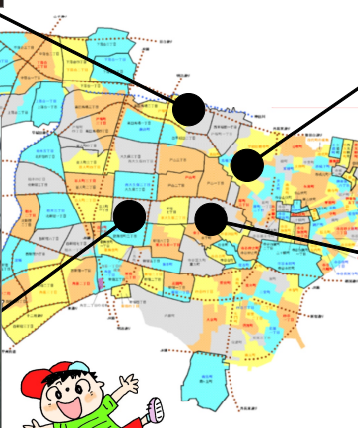
戸塚第一幼稚園



早稲田幼稚園



大久保幼稚園



余丁町幼稚園

日本共産党新宿区議団ニュース

2012年9月号  
区立幼稚園廃園問題特集

発行：日本共産党新宿区議団  
新宿区歌舞伎町1-4-1  
TEL:5273-3551 FAX:3200-1474  
メール: info@jcp-shinjuku.com